

県広報誌

令和8年

冬号

WINTER 2026

Vol. 214

「輝く」いまを、ともにいきる
健康しが2.0

滋賀+1

プラスワン



2026

三日月 大造
知事

坂口 志文 さん
(ノーベル生理学・医学賞受賞)

新春トーク

希望が咲き誇る1年に。 滋賀の2026、始動!



TOPIC INDEX

2026新春トーク 心身ともに健やかな1年を!
学び・健康から考える滋賀県の未来 …… P02-04

未来をつくる 北の近江振興プロジェクト
企業と共創する新たな賑わいづくり …… P05

近江生まれのふたりの武将 …… P06-07

滋賀のスポーツは次の舞台へ …… P08-09

今 部落差別(同和問題)を学ぶ …… P10-11
～差別のない社会を目指して～

近江生まれの名補佐役、石田三成と藤堂高虎の歩みを
県内ゆかりの地を巡りながらご紹介

滋賀県デジタル広報誌

web 滋賀+1

web限定の新しい記事をUP!

詳しくは
webサイトを
チェック!



心身ともに健やかな1年を！ 学び・健康から考える滋賀県の未来

滋賀県出身者として初のノーベル生理学・医学賞を受賞された坂口志文さん。三日月知事とともに、故郷への想い、そして学びや健康の未来について語っていただきました。

まずは故郷・長浜への思いを伺いました

坂口 私は長浜の出身で、歩いて10分ほどで姉川へ行けるような自然豊かな環境で育ちました。長浜は歴史的には長浜城や小谷城もあり、自然と歴史に恵まれた面白い土地だと思います。

知事 姉川や高時川といった長浜を流れる河川は、人々に恵みをもたらすだけでなく、アユをはじめとする生態系にとっても重要です。しかし近年は気候変動や水温の影響でアユの数が減るなど課題もあり、放流方法の見直しなど対策を進めています。先生が子ども時代に過ごされた豊かな自然環境を、これからも守っていききたいですね。

また、長浜を含む県北部地域（長浜市、高島市、米原市）は、県内でも特に人口減少や高齢化が進んでいる地域であり、ある意味では課題先進地域として、重点的に地域振興に取り組んでいます。北部地域の高校生の皆さんと魅力ある地域づくりについて考える北の近江振興高校生サミットを毎年開催するなど、新しい地域づくりを進めているところです。

坂口 長浜では黒壁スクエアができたり、まちおこしにより観光客が増え変化がある一方で、子ども歌舞伎などの伝統文化は今も受け継がれていますね。変わる部分と変わらない部分、どちらも大切にしな

がら、地域ならではの文化がこれからも残ってほしいと思います。

「面白い」という気持ちが研究の出発点に

坂口 私が気づけば50年以上も研究の道に没頭してこられたのは、自分を守るべき免疫が自分を攻撃することもあるという二律背反的なところに惹かれ、その興味を持ち続けられたことが大きかったと思い

滋賀県知事

三日月 大造



長浜曳山まつり 子ども歌舞伎

(公社) びわこビジターズビューロー



ます。勉強に限らず、自分が面白いと感じたものを続けることで新しい視点が見えてくるものです。変化の早い時代ですが、興味を持ち続けるということが今の時代も重要だと思います。

知事 「面白い」と思う気持ちはすべての出発点です。自然の中での遊びや交流など、子ども時代の体験は勉学にも社会で生きていく力にもつながります。県では、子どもたちが多様な体験をする機会をつくるため、民間団体や企業等と連携し、公園や博物館等を活用して体験活動の充実に力を入れています。

多様な学びで子どもたちの選択が広がる

知事 坂口さんは高校まで滋賀で過ごされたのですよね。高校時代は興味のあることを伸ばしていく時期です。県立高校では各々の高校の魅力や特色を高める取組を進めていて、伊香高校には「森の探究



伊香高校「森の探究科」の授業風景

科」、守山北高校には「みらい共創科」という新学科が誕生しています。興味のあることに挑戦したいと思う子どもたちを後押しできたらと思います。

坂口 選択肢が広がることは重要だと思います。かつて日本は学歴社会といわれましたが、これからは多様な職業を経験したり、学び直したりと、様々な生き方が可能になる時代です。高校にいろいろな形があるのは重要なことですね。

知事 県でも多様な学びを大事にしています。例えば、教室に入りづらい子どもが安心して過ごせる教室外の居場所づくりによって学びの機会を確保する取組を進めています。また、県内初の高等専門学校を2028年に開校する予定です。知識と実践力を備えた知行合一のエンジニアを滋賀から輩出できたらと思います。

坂口 高専生がロボットのコンクールなどで楽しみながら技術を習得されている姿をテレビで目にします。あのような学びの場があるのは面白いですね。そこからさらに専門性を深めたくなれば大学に進学されるもよし、多様な可能性を選択できることが重要だと思います。

知事 子どもたちが本来持つ興味や関心を引き出すために、先生方との対話や、地域・社会との交流の場をつくっていただけたらと思います。実は、私は高校時代に英語教師だった坂口さんのお兄さんの教える

2025 年 ノーベル生理学・医学賞受賞 坂口 志文 さん



大阪大学特別栄誉教授

坂口 志文 さん

1951年長浜市生まれ。県立長浜北高校、京都大学医学部卒業。1995年に「制御性T細胞」の存在と免疫学的重要性を世界で初めて証明。2025年ノーベル生理学・医学賞を受賞。

坂口さんが日々研究を行っている
大阪大学でお話を伺いました。

受けたことがあります。その際に日本学者のドナルド・キーンさんのことを教わり、日本文化を外から見る視点を知って新鮮だったのを覚えています。そうした学びの視野を広げる機会を今後も増やしていきたいですね。

坂口さんが続けてこられた研究とは

坂口 これまで免疫学では、免疫反応をいかに高めるかという点に重きが置かれてきました。私が研究してきたのは、その逆で「免疫反応を起こさないようにする」仕組みです。現在では世界的にも制御性T細胞によって、様々な病気が治せないかという研究が盛んに進んでいます。そういった流れの中で、少しでも早く実際の患者さんに、有効な治療法・予防法が届くことを願っております。

知事 免疫反応を抑えることで病気の治療や予防につながるというお話は、多くの患者さんにとって大きな希望だと思います。坂口さんの研究成果が新たな治療法や予防法として実を結ぶことを期待するとともに、「坂口さんのようになりたい」と志す若い研究者が滋賀から生まれることも願っています。

医療だけではなく健康のかたち

知事 県では、健康寿命の延伸を目指す「健康しが」を掲げ、県民の皆さんの健康長寿を支える取組



を進めています。滋賀県が全国的に見ても比較的長生きする方が多いのは、病気の予防や死亡率の低下といった医学的側面に加え、生活習慣や人と人とのつながり、支え合いが根づいていることが理由だと考えています。命をよりよく輝かせられるよう、社会の健康や自然の健康も含めた、滋賀県らしい取組を進めていきたいです。

坂口 健康寿命という観点では、寿命を延ばすことだけでなく、人生を最後まで楽しんで生きることが重要だと思います。その点、滋賀県は自然や歴史、文化が豊かで、暮らしを楽しめる環境に恵まれています。県民の皆さんには、楽しく健康に、スポーツや学問など、様々な分野で活躍していただきたいと思っています。

知事 今年は、大河ドラマ「豊臣兄弟!」の放送や安土城築城450年といった節目もあり、近江の歴史が全国から注目される一年です。坂口さんがおっしゃったように、豊かな自然や、その中で育まれた歴史・文化、そしてそこで営まれる暮らしを、これからも大切にしていきたいですね。

COLUMN

免疫学最後の大発見 「制御性T細胞」とは?

制御性T細胞は、免疫の暴走を防ぐブレーキ役を担う免疫細胞です。自己免疫疾患や、アレルギーなどの抑制に重要で、免疫のバランス維持に欠かせません。坂口さんは制御性T細胞を発見し、その存在と免疫学的重要性を世界で初めて証明しました。

医療への応用が期待されています

- 免疫病の治療・予防
- がん免疫療法
- 臓器移植に対する免疫寛容誘導

新春トークの全編はweb滋賀プラスワンで公開しています。
ぜひご覧ください。



未来をつくる 北の近江振興プロジェクト 企業と共創する新たな賑わいづくり

伊藤忠商事株式会社の新入社員研修が高島市で行われているのを知っていますか？同社の創業者は滋賀県出身で、企業理念「三方よし」を実践するため、近江商人発祥の地で地域と交わり、商人の基礎を学んでいます。この取組にヒントを得て、地域ならではの特別な学び(研修)を企業に提供し、地域での研修を通して新たな賑わいをつくる企業研修誘致の取組が県北部地域(長浜市、高島市、米原市)で始まっています。県北部地域の歴史文化に根差した体験、「三方よし」の考えを実践する事業者との交流等売り出し、「企業研修の受入れが盛んな県北部地域」のブランディングを進めます。



昨年の新入社員研修には
県職員も参加しました

詳しくは動画を
ご覧ください



この取組は始まったばかり。企業研修のニーズを探るため、11月に
首都圏企業8社の人事担当者をお招きし、モニターツアーを実施しました。

270年続く「真綿づくり」を体験/体感

江戸時代から続く伝統製法で近江真綿づくりを営みつつ、観光客の受入れや化粧品開発にも取り組む山脇店主のチャレンジ精神を学びました。



山脇源平商店

琵琶湖で育まれた発酵食文化

「山と湖と人の健全な未来」を醸すことを目指し、クラシカルな味噌や、様々な副原料を用いたクラフトどぶろくを製造する醸造家を訪ねました。



ハッピー太郎醸造所

参加者の声から見た企業研修の可能性

ツアー参加者からは、「現地でしか学べない、地域の熱量を感じた」「三方よしの考えが地域に根付いていた」という声をいただいたり、「ファンになった。家族でまた来たい」と家族へのお土産を片手に笑顔で語る姿が見られました。地域の方からは、「ツアーを通じて地域の魅力を発信でき良かった」との声を聞くことができ、新たな賑わいの種を感じました。



企業研修誘致で生まれる 地域の賑わい

特設サイト ▶



研修をきっかけに県北部地域を訪れ、地域の魅力に触れることでファンになっていただき、地域に新たな賑わいが生まれることを目指しています。

コンテンツの提供

地域の魅力を伝える

研修を
行う企業

地域の事業者
(研修受入先)

研修を通じて

地域経済の活性化・地域のファン(関係人口)に!

北部地域の未来をつくる 北の近江振興プロジェクト

県では、県北部地域の豊かな自然や歴史・文化遺産などの資源を活かした地域振興を「北の近江振興プロジェクト」として、様々な取組を進めています。

他には働きながら旅をする人と人手不足の事業者をマッチングするサービス「おてつたび」と連携した取組を行っています。事業者として受入れを行った高島市森林組合の担当者からは、「獣害対策では作業量が多く人手不足が課題。地域内で求人を出してもなかなか集まらないが、おてつたびの活用によって人材確保ができた」とのお声をいただきました。

この記事に関するアンケートにご協力をお願いします



近江生まれのふたりの武将

2026年の大河ドラマ「豊臣兄弟!」(NHK)。「天下一の補佐役」といわれている秀吉の弟・豊臣秀長が主人公です。補佐役といえば、豊臣兄弟に仕えた滋賀県(近江)生まれの武将、秀吉に仕えた石田三成と秀長に仕えた藤堂高虎。対照的なふたりの歩みを県内のゆかりの地を巡りながらご紹介します。

※緑文字は石田三成に、青文字は藤堂高虎に関することです。

石田三成

忠義に厚い豊臣政権の頭脳



1560年

現在の長浜市に次男として生まれる。曲がったことを嫌い、規律を重んじる生真面目な性格だった。観音寺で小僧をしていたころ、喉が渴いていた初対面の秀吉に、三成はぬるめ→やや熱め→熱めと3段階でお茶を出す巧みなもてなしを見せた。この「三献の茶」をきっかけに秀吉に仕えることとなる。



観音寺

秀吉にふるまった水を汲んだとされる古井戸が残る

名補佐役の近江の武将は他にも!

●島左近

近江出身?三成に破格の待遇で迎えられ、側近となる。

●池田景雄

甲賀郡池田村出身。秀長に仕え、イ草の生産地として知られた浅小井の城に居城。

●羽田正親

蒲生郡上羽田村出身。秀長の筆頭家臣で、賤ヶ岳の戦いでは賤ヶ岳砦を守った。



長浜城

秀吉が初めて築いた城。城の完成にあわせて、秀吉が地名を「今浜」から「長浜」へ改めた。秀長が城代を務めることもあった。現在は城郭型の歴史博物館が建つ。

賤ヶ岳

豊臣兄弟が柴田勝家に勝ち、天下への道を切り開いた戦いの場。

戦前には敵情や地形・気候を調べ、秀吉の作戦立案を支えた。また戦場では最前線で槍働きも見せた。

1583

賤ヶ岳の戦い 2つの才が並ぶ

近江が育てた 対照的なふたり

豊臣兄弟を支える 補佐役へ

安土城

豊臣兄弟が仕えた信長の城。城跡は国指定特別史跡として残り、伝羽柴秀吉邸跡が整備されている。

豊臣兄弟に仕えた2人。秀吉や信長の城で出会うこともおそらくあった?

在士高虎公園



甲良町には高虎の騎馬像や、高虎が大坂城再築に際し切り出したものの使われなかった残念石がある

敵の猛将を銃撃して敗走させたことで、大いに評価された。

現在では、琵琶湖と余呉湖の景観や史跡をめぐる多彩なハイキングコースが整備されている。



琵琶湖八景の1つにも数えられている。また、賤ヶ岳の戦いで秀長が本陣を構えた田上山砦跡は賤ヶ岳が目の前に広がり、当時の戦いを感じられるスポット。昨年木々の伐採等の整備が行われた。

藤堂高虎

秀長のもとで開花した築城の才能



1556年

現在の甲良町に次男として生まれる。生まれつき体が大きく、3歳の頃には餅を5つ6つ食べることも当たり前であった。短気で乱暴、負けず嫌いで、怪我をしても決して痛いとは言わなかった。

当初は浅井長政に仕え、「姉川の戦い」で初陣を飾り、その後の「宇佐山城の戦い」でも武功を挙げ、才能を見せた。しかし、揉め事を起こして逃亡し、その後も2人の武将に仕えるがしばしば衝突を起こした。一時は織田信長の甥である織田信澄にも仕えたが、長続きしなかったとされる。しかし、秀長に仕えることとなった以降は秀長の死去まで長く仕えた。

「戦国ディスカバリー滋賀・びわ湖」開催中!

「豊臣兄弟!」の放送や安土城築城450年に合わせ、「戦国」をテーマに滋賀県観光キャンペーンを開催しています。

詳細はこちら



今、戦国時代が動き出す。

滋賀 びわ湖
滋賀県観光キャンペーン

※(公社)びわこビジタースビューロー

太閤検地や刀狩令など、秀吉の重要政策に関わる。初めて大將に任命された忍城攻めでは秀吉の戦略であった水攻めに反対し、実際に水攻めでは落ちなかった。また、秀吉の天下統一後には佐和山城の城代を務めた。その後、豊臣兄弟の甥で秀吉の養子であった豊臣秀次の死後に正式に佐和山城主となった。

佐和山城



大蛇の岩窟



関ヶ原の戦いに敗れた三成は母の故郷であり、自らも幼少のころ過ごした法華寺のある古橋まで逃げのび、村民により大蛇の岩窟に匿われた。しかしその後捕らえられ、処刑前には大津城にさらされた。

1600

関ヶ原の戦い 敵同士の対面へ

異なる分野での活躍 主君の死という別れ道

「築城名人」として知られる高虎。秀吉が秀長に命じた和歌山城の築城で普請奉行に任命され、初の本格的な築城を担当した。また、徳川家康の屋敷・聚楽第の設計にも関わり、警備上の問題点を見抜いて独断で図面を変更し、その費用は高虎が負担した。

各々の分野で活躍し、豊臣政権を支えた2人。しかし、豊臣兄弟の死後、高虎は家康に仕え、敵対することとなる。高虎ら含む7名の武将が三成の殺害を企てた七将襲撃事件も発生した。

大津城



大津城でさらされていた際、三成は敵軍の武將から罵倒、叱責された。しかし、高虎は三成に「我が隊と戦った際、何か問題はあったか」と尋ねた。三成は「鉄砲隊の統率が十分でなかったため、優秀な人材を指揮官に登用してはいかがでしょう」と答えた。これを受け、高虎は鉄砲隊の指揮官に高級武士を充てたところ、各段に動きがよくなった。

国友鉄砲の里 (国友鉄砲ミュージアム)

秀吉、三成らの保護を受けた、鉄砲の日本三大生産地の1つ。賤ヶ岳の戦いや関ヶ原の戦いでも国友の鉄砲が使われていた。現在は博物館が建つ。

龍潭寺



境内には三成の供養碑がある。毎年4月に行われるだるま祭りでは、何千ものだるまが並ぶ。



龍潭寺から佐和山城跡へといたる参道にある三成の座像

石田三成をもっと知る



滋賀に残された ふたりの物語

膳所城



後に江戸城や大坂城が続く天下普請の第1号であり、高虎が基本設計を行った。現在は膳所城跡公園として整備され、春には桜の名所として花見客を多く集める。膳所神社などに移された城門は重要文化財に指定されている。



膳所高虎をもっと知る



滋賀のスポーツは 次の

ゴールドンスポーツイヤーズ

国スポでは44年ぶりの天皇杯・皇后杯を獲得
障スポでは過去最多の174個のメダル獲得

湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ 2025



今年のインターハイは
滋賀県でスタート!

高校生最大のスポーツの祭典
夢へ躍進 青春の夏

2025

2026



未来のスター選手たちが活躍

国スポでは多くの少年選手たちも奮闘し、メダルの獲得や入賞を果たしました。惜しくも入賞を逃した選手たちにも未来への期待が寄せられており、ホーム開催となる今年のインターハイなど、選手たちの次の舞台での活躍に注目です。

少年選手の活躍で獲得したメダル / 滋賀県が獲得したメダル



ローイング(少年女子 ダブルスカル)

三村・島田ペア

学校の垣根を越えて
コンビを結成しつづけた頂点!



三村選手(左)・島田選手(右)

柔道(女子チーム)

2025インターハイ覇者

比叡山高校の現役生・卒業生
チームが国スポも制覇!



林選手

障スポでも未来のスター選手が躍進!

ホッケーがシンボルスポーツ!
米原が誇る強豪・伊吹高校が奮闘!



藤田選手
(水色のユニフォーム)

ホッケー(少年女子チーム)



大会新記録をマークし
金メダルを獲得!

水泳(25mバタフライ)木内選手

滋賀レイキッズ ローイングの三村選手やホッケーの藤田選手は滋賀レイキッズ出身です!

滋賀県での国スポ開催を見据え2014年から始まった次世代アスリート発掘育成プロジェクト。セレクトプログラムを突破した滋賀県内の小学5年生が、日本代表選手、トップアスリートによる指導の下、様々なスポーツを体験し、自分に合った競技を見つけます。

滋賀レイキッズで自分の競技に出会った選手たちが、滋賀で、全国で、世界で活躍しています!

ぶ た い 舞台へ

昨年、滋賀県で開催された「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」では、選手をはじめ、選手を応援した方やボランティアなど、多様な立場の一人ひとりが輝く大会となりました。この感動や有形無形の価値をレガシーとして受け継ぎ、今後本県で開催するスポーツイベント等に活かしてまいります。

近畿総体 2026



滋賀県等の近畿ブロックで開催。
総合開会式が滋賀県で開催されるのは
47年ぶりです。
開催期間：7月22日(水)～8月21日(金)
総合開会式：8月3日(月)
会場 滋賀ダイハツアリーナ

概ね30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加可能

生涯スポーツ大会の世界最高峰
ワールドマスターズ
ゲームズ2027関西

2027



スポーツで滋賀を元気に

子どもたちの夢を実現する環境

地域活性化

一人ひとりの健康促進

地域に元気を届けるプロスポーツチーム

滋賀県を拠点に活動するプロスポーツチーム等は現在8つあり、ホームゲームの開催はもちろん、地域のイベントや子ども向けのスポーツ教室への参加により地域を盛り上げています。

8チームの
紹介はこちら▶



滋賀ブルーライズIHC (アイスホッケー)

PICK UP

国スポで育んだつながりを次世代へ引き継ぐことを目指し、国スポの「滋賀県アイスホッケー成年男子」チームを核とした「レガシーチーム」として新たに誕生しました。
新リーグ「EXTREME ICE HOCKEY LEAGUE」に参入し、木下カンセーアイスアリーナ(大津市)をホームに活動しています。

新リーグの開幕戦は
滋賀県で開催されました



選手たちによる
アイスホッケー体験の様子



新たにつくる私のまちのシンボルスポーツ

国スポ・障スポの開催競技が今後もその地域で愛されるシンボルスポーツとなることを目指し、県内各地で取組が行われています。

草津市 飛び込み

「滋賀を飛び込み競技の一大拠点に」をスローガンに、トップアスリートの育成を目指した取組が行われています。馬淵監督率いる滋賀・立命館ダイビングクラブには世界で活躍する選手が所属しており、体験教室も実施しています。また、国スポを機に滋賀に拠点を移した選手が、引き続き滋賀で競技を続けることにも繋がっています。

トップアスリートによる
エキシビションや体験会!



飛び込み体験教室の様子

国スポで入賞した選手も
コーチとして活躍中!



選手兼コーチの伊藤光輝選手

甲賀市 ボッチャ

様々な人が楽しめるスポーツとして、市民交流大会の開催や、身近な場所で競技を体験できるよう、用具の無料貸出等が行われています。



市民交流大会の様子

竜王町 スポーツ クライミング

新設されたドラゴンボルダリングジムは町内外、世代を問わずスポーツクライミングを楽しめる施設で、定期的にキッズスクールも開催されています。



4歳以上の小さなお子さんでも登れるサブウォール



部落差別（同和問題）を学ぶ

～ 差別のない社会を目指して ～

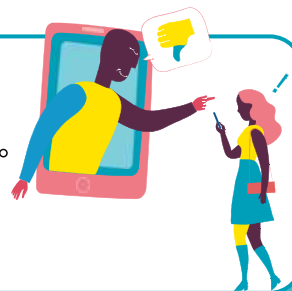
2026年は「部落差別の解消の推進に関する法律」の施行から10年です。この法律には、現在もなお部落差別が存在することが明記されています。差別のない社会をつくるために、今あらためて部落差別（同和問題）について学び、自らの意識を見つめ直すとともに、解決に向けて考えてみましょう。

部落差別（同和問題）とは？

部落差別（同和問題）は、「同和地区」や「被差別部落」などと呼ばれる地域の出身であることや、そこに住んでいることを理由に、日常生活の中で様々な差別を受けるという日本固有の人権問題です。

部落差別は過去の話？

- 歴史的な理由により形作られた身分などによる差別が、今もなお存在しています。
- 近年ではインターネット上での部落差別（同和問題）を助長する書き込み等が深刻な問題となっています。



教科書の記述は変わった？

小学校の教科書における部落差別（同和問題）に関する歴史の記述は、時代とともに変化しています。

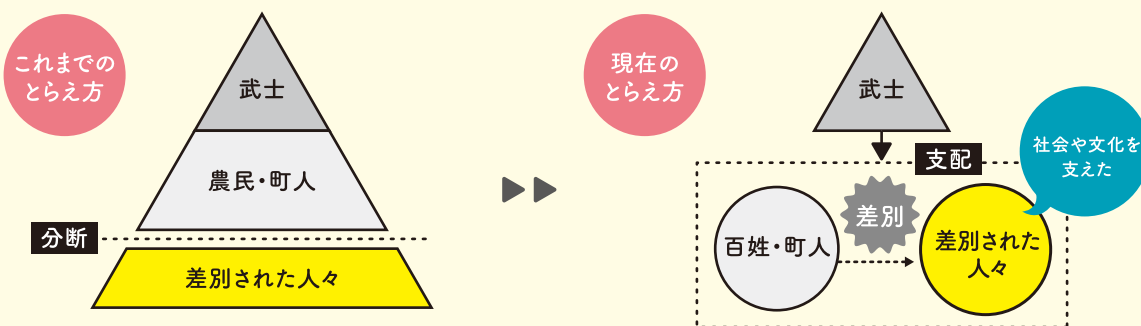
平成4年の教科書

- 幕府や大名は農民や町人の下にさらに「低い身分」を置いた。
- 他の身分と分断して支配した。

現在の教科書

- 百姓や町人からも差別された人々がいた。
- 農業・手工業・治安・芸能などにより当時の社会や文化を支えた。

変化のイメージ図



部落差別（同和問題）に関しての教え方は、今と昔では変わっています。

一人ひとりが関心を持ち、学び続けることが大切です。

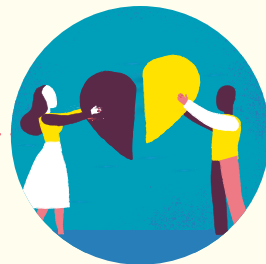
この変化について、家庭や職場、学校で話し合ってみてはいかがでしょうか。

今日からあなたも考えてみませんか

部落差別(同和問題)は私たちの生活にどのように関わり、影響を与えているのでしょうか。
身近な例を元に考え、自分自身の価値観や考え方を見直してみましょう。

●好きな人と友人やパートナーになりたいよね

相手の生まれや居住地を気にして、私たちの人生を豊かにする友人・パートナーと
出会う機会や関係を築く機会を失ってしまうのはもったいないですね。



●差別のない会社が良いよね

採用選考の応募者やその家族の居住地で採用を判断
するような、差別のある会社では気持ちよく働けないし、
社会からの信頼も得られないですね。



●気に入ったところで暮らしたいよね

その地域に関する根拠のない噂話やインターネット上の評判によって、自分が
住みたいところに住まないのはおかしいことですね。

間違えやすいポイント



部落差別(同和問題)に関して、「口に出さず、そっとしておけば、自然になくなる」という意見がよく聞かれますが、これは結果的に差別を温存させる誤った考え方です。

正しく学ばなければ噂話やインターネット上の情報に惑わされてしまい、差別をしてしまうことに繋がりがねません。

一人ひとりが正しい知識を学び、考え続けることが差別をなくするために大切です。

どこで生まれたかではなく、何が大切なのか改めて考えてみませんか。

全ての人の人権が尊重される社会をみんなでつくりましょう。



さらに詳しい情報はこちら

県啓発
冊子



法務省
ホームページ



人権
ライブラリー



令和7年度 同和問題啓発強調月間ポスター

県立施設イベントスケジュール

	1月	2月	3月
琵琶湖博物館 TEL 077-568-4811 定休日 月曜日(祝日は開館) 12/26(金)～1/3(土)は休館	ふれあい体験室・ワークショップ(土日祝計20回) 2/3(火)～3/1(日) トピック展示「トンボ100大作戦」 ● 3/8(日) ナイトミュージアム 3/17(火)～5/24(日) 寄贈資料を活かしたギャラリー展示第1弾「民俗学者・橋本鉄男が見た近江」		
滋賀県立美術館 TEL 077-543-2111 定休日 月曜日(祝日は開館、翌日火曜日休館) 12/29(月)～1/3(土)は休館	1/17(土)～3/22(日) 企画展「笹岡由梨子のパラダイス・ダンジョン」 常設展「SMoA コレクションⅣ期」 ～2/23(月・祝) 2/25(水)～5/10(日) 3/28(土)～4/5(日) 滋賀県美術協会第70回記念展 2/21(土)～4/19(日) ※金土日祝の10時～17時まで開場予定 ※高島市勝野(大溝地域)で開催予定 ASK01 滋賀県立美術館企画 湖北における現代美術展 キュンツョメ 100万の子守唄		
滋賀県立陶芸の森 TEL 0748-83-0909 定休日 月曜日(祝日は開館、翌日火曜日休館) 12/28(日)～1/5(月)は休館	陶芸館は3/19(木)まで休館 特別展「20世紀北欧デザインの巨匠 スティグ・リンドベリ展」 3/20(金・祝)～5/10(日) ギャラリー「陶芸館・新収蔵品の逸品展」 3/20(金・祝)～5/10(日)		
安土城考古博物館 TEL 0748-46-2424 定休日 月曜日(祝日は開館、翌日火曜日休館) 12/28(日)～1/5(月)は休館	● 1/12(月・祝) 連続講座Ⅱ②「秀長家臣・藤堂高虎の生涯―築城家の真相―」 特別陳列Ⅳ「滋賀の縄文・弥生・古墳時代」 ～2/1(日) 2/14(土) ● 連続講座Ⅲ③「秀長家臣・小堀正次の生涯―遠州の父の姿―」 2/14(土)～4/5(日) 第71回企画展「近江―道が織りなす物語―」		
醒井養鱒場 TEL 0749-54-0301 定休日 水曜日 12/29(月)～1/3(土)は休場	マス釣り場は通年開設中です 醒井養鱒場は一年中12℃の湧水でマス进行飼育しており、冬でも元気に泳いでいます。 2/1(日) ● さめがい冬まつり 2/15(日) ● 冬の養鱒の里ふれあい体験 ビワマス放流体験事業(丹生川) ● 3/22(日)		
平和祈念館 (入場料無料) TEL 0749-46-0300 定休日 月・火曜日(祝日は開館) 12/15(月)～1/6(火)は休館	第38回企画展示「戦争を描く」 地域交流室展示「沖縄戦と子どもたち」 ～2/8(日) 1/17(土) ● 平和教養講座 映画上映会 1/25(日) ● 平和教養講座 2/21(土) ● 映画上映会 2/22(日) ● 3/19(木)～3/22(日) 開館記念week 映画上映会 3/22(日) ●		

滋賀県からのお知らせ

暮らしの情報局

お知らせ

3月末で 収入証紙を廃止します

滋賀県収入証紙が使用できなくなります。未使用の収入証紙の還付方法や廃止後の支払方法の詳細はホームページをご確認ください。
※国の「収入印紙」とは異なります。

- ◆販売・使用期間…3月31日(火)まで
※4月1日(水)からは使用できません。
- ◆還付(払戻)期間…4月1日(水)～令和13年3月31日(月)

問 滋賀県会計管理局管理課
TEL 077-528-4311
Email ka00@pref.shiga.lg.jp



お正月に人生会議を してみませんか？

「もしものとき」に備えて、どんな治療やケアを受けたいか、そしてどのように生き、どのように最期を迎えたいかを、家族や大切な人、周囲の人と繰り返し話し合い、共有する取組を「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」といいます。

お正月は、家族や友人等とゆっくり語り合える時間です。この機会に、「生き方」や「最期の迎え方」について話してみませんか？

詳しくはこちら(県HP)▼

問 滋賀県医療福祉推進課
TEL 077-528-3529
Email ed00@pref.shiga.lg.jp



彦根初

彦根城周辺⇄彦根駅間で 自動運転バスを運行します

期間中は毎日運行します。
ぜひ乗車してみませんか？

- ◆運賃無料
- ◆運行日程(予定)…2月2日(月)～2月16日(月)



※詳細は1月上旬に公開▼

問 滋賀県交通戦略課

TEL 077-528-3687

Email hc00@pref.shiga.lg.jp



人口と世帯

令和7年11月1日現在
※()は前月比



人口総数	1,396,551人 (+19)	男性:688,417人 女性:708,134人
外国人人口	40,363人(+346)	
世帯数	609,044世帯(+412)	

あなたの想い きかせてください!

県では、県民の皆さんとの対話を通して、これからの滋賀県づくりを進めていきたいと考えています。いただいたご意見は県政運営の参考にしていますので、皆さんの県政への建設的なご意見やご提案をお待ちしています。

知事への手紙

はがき、封書のほか、ネットやLINE等で受け付けています。

AIうおーたん

もっと身近に、もっと気軽に

「県民の声ひろば」、「子ども県民の声ひろば」で利用できます。



滋賀県イメージキャラクター
うおーたん

- いただいたご意見・ご質問にAIがすぐに応答します
- 県HPの情報や過去の意見をもとに分かりやすく答えます
- 59言語にも対応しています

昨年10月の導入から2か月で2,300件以上のご意見・ご質問にお答えしています。利用されるほど成長していきますので、ぜひ気軽に話しかけてみてください。

知事への手紙から取り組みました!

CASE1 「猛暑日が続いているので涼しい朝の時間帯に希望が丘文化公園の施設を利用したい」というお手紙をいただき、9月末まで午前8時からご利用いただけるようにしました。

CASE2 「娘が大阪・関西万博で交流した海外パビリオンのスタッフに自由研究を届けたい」とのお手紙をいただきました。自由研究を見せる約束をしていたそうです。

会期末で入場が困難だったことから、県職員が自由研究をお預かりし、スタッフにお届けしました。スタッフが大変喜ばれていた様子を報告したところ、お子さんも喜んでいられるとお返事をいただきました。

料金受取人払郵便

大津中央局
承認

1726

差出有効期間
令和8年4月1日
まで(切手不要)

5208790

大津市京町四丁目一一

滋賀県広報課

「知事への手紙」係行

封筒の作り方

- ①キリトリ線に沿って切ります。
- ②中央を山折りにし、のりしろAののりをつけます。
- ③のりしろAとのりしろBを貼り合わせます。
- ④切手を貼らずにそのままポストへ。(令和8年4月1日まで)

(山折り)

「知事への手紙」 あなたの想い きかせてください

この用紙以外の方法でも、いつでも受け付けています。

- 専用受付フォーム「しがネット受付サービス」

パソコン

県ホームページ「知事への手紙」

→ HPより「知事への手紙」を送る

スマートフォン

右記の二次元コードから

専用受付フォームへ



子ども専用受付

右記の二次元コードから

専用受付フォームへ



(県ホームページ「子どもから知事への手紙」からも送れます)

- LINE

右記の二次元コードから

専用受付フォームへ



- はがき・封書

〒520-8577 滋賀県庁 知事への手紙 宛

- ファックス 077-528-4804

おまちしています!



※次の手紙は「知事への手紙」としてお受けできませんのでご了承ください。

- 法令違反に関わる告発、警察捜査、許認可に関わる内容など
- 特定の個人や団体などを誹謗中傷するもの
- 商業宣伝に関するもの
- 県の職員(県立学校の教職員を含む)など県の内部関係者からのもの

のりしろB

- ・冬号のご感想
- ・県政についてのご意見
- ・希望のプレゼント番号(1つ)
- ・郵便番号 ・住所
- ・氏名 ・年齢
- ・電話番号
- ・匿名希望の有無

輝くいまを!ともにいきる「健康しが」



vol.54



滋賀県知事

三月大進

うま
午年。鳥も、魚も、虫も、鹿も、クマも、牛も、
すべての「いのち輝く滋賀」みんなでつくろう!

令和8年、新春を寿ぎ、謹んでお慶び申し上げます。風も、山も、水も、土も。待ち遠しい春に日々、近づいています。この時期、風雪の中、可憐に咲く寒梅に勇気をもらいます。

世界、社会、未来。不安や不穏、不確実な状況の中、私たちは何を大事にして生きるといいのでしょうか? 私は、「信用と連帯と技術」ではありませんか? と問い、呼びかけ始めています。これらの言葉の大事さは、湖国・近江の歴史を振り返っての確信でもあります。

まず、何より「信用」です。おのれ わす
「己を忘れて他を利する」と説かれた伝教大師・最澄。滋賀の、自分だけでなく、まわりの人や自然のことを考えて生きる人の

多さ。「三方よし」で社会を大事に、商いを実践した近江商人。琵琶湖をはじめ自然や生態系のことを考え営み続ける滋賀県民と滋賀の事業所。100年を超えて続く企業も多くあります。滋賀県に住みたい! 滋賀県の企業と仕事したい! 滋賀県で子どもを育てたい! 終の住処に、と思える滋賀県に。おかげさまで滋賀県には世界に、未来に通じる信用があります。

次に「連帯」。一人より二人。隣に人がいること、寄り添い合うことで力がわきます。地域や団体、同業者や仲間のささえ合いは心強いですね。

そして「技術」。知識と技能は未来を拓いてくれます。いくつになっても自分の可能性を伸ばす、レイカディア大学の学びを大事にします。子どもや若い世代の「学び力」を高める、美味しい学校給食を届ける、大人や先生の笑顔が増える、学校を楽しい場所にする、様々な体験の機会もつくります。高校の魅力を高め、令和10年4月の滋賀県立高等専門学校の開校準備を進めます。

今年もいろいろあると思います。みんなで声をかけ合い、力を合わせて生きましょう!



北の近江現場訪問で伊香高校新学科「森の探究科」の新入生と意見交換!

動画版はこちら



1 ALL SHIGA 30酒蔵コラボ 純米酒 720ml

2 名様
滋賀県酒造組合加盟全蔵30社の純米酒をブレンドした限定酒で、今回が最後となります。
※応募は20歳以上の方に限ります。



3 北方領土問題啓発「歯舞昆布」約300g

5 名様
豊潤な海の恵みが肉厚の身に詰まった上質な昆布です。県は返還要求運動に取り組んでいます。歯舞昆布から北方領土問題を考えませんか?



5 滋賀県オリジナルいちご「みおしずく」(2パック)

10 名様
しずくのように美しい、県初のオリジナルいちご。香りが非常に強く、適度な酸味と際立つさわやかな甘みが魅力です。



2 グリル鍋 12cm

3 名様
信楽焼らしい味わいと直火OKのタフさが魅力の鍋です。



4 近江牛ひとくち餃子 2箱セット

5 名様
近江牛をメインに、薄皮で包んだ一口サイズの餃子をつくりました。



6 近江いちご物語 5個入り

5 名様
滋賀県産いちご「みおしずく」を使用した、とろける食感の半熟チーズスフレです。



お寄せいただいたご意見を本誌などで紹介させていただくことがあります。個人情報の取扱いについては「個人情報保護法」に基づき適正に行います。なおプレゼント発送のため、個人情報を商品取扱事業者提供します。あらかじめご了承ください。当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

広告

県広報誌「滋賀プラスワン」は年4回の発行で、冬号は34万1000部作成し、県内に新聞折込で配布しています。
滋賀県デジタル広報誌web「滋賀プラスワン」または、県のホームページでもご覧になれます。
郵送をご希望の方、点字版・音声版（CD版）のお申し込みは滋賀県広報課までご連絡ください。
次回の発行は令和8年（2026年）4月1日の予定です。

滋賀プラスワンは左記施設に配置しています
県内の市町役場、図書館、県立施設などの公共施設、郵便局、銀行、美容院、理容店、大学、JＲ琵琶湖線や
近江鉄道などの主要駅、平和堂、イオンファミリーマート、セブン・イレブン、ローソンの一部など

「輝く」いまを、ともにいきる
健康しが2.0

滋賀^{プラスワン}

令和8年（2026年）

Vol. 214

冬号



この印刷物は、環境に配慮した森林認証材と管理木材を原料とした用紙、植物油インキを使用しています。

令和8年（2026年）冬号
令和8年1月1日発行
滋賀県知事公室広報課

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号
TEL 077(528)3043
FAX 077(528)4803
Eメール koho@pref.shiga.lg.jp
ホームページ
<https://www.pref.shiga.lg.jp/>

